

**宮 城 県 の 経 済 動 向**  
**平成 2 3 年 第 3 四 半 期**  
**( 7 月 ~ 9 月 期 )**

## 本県の経済概況

平成 23 年第 3 四半期（7 月～9 月期）の宮城県経済の動向

東日本大震災（以下「震災」という。）による多大な影響が各方面に生じているが、一部に回復の動きがみられる

- ・生産：震災の影響により大幅に低下した後、一部に回復の動きがみられるが、低水準となっている。
- ・住宅投資：持家を中心に増加となった。
- ・公共投資：増加となった。
- ・個人消費：回復の動きがみられる。
- ・雇用：求人倍率は上昇しているものの、厳しい状況が続いている。
- ・企業倒産：倒産件数は小康状態が続いているが、今後、震災の影響が懸念される。

### 生産

鉱工業生産指数は、前年同期比が 3 期連続の低下となった。前期比は、6 期ぶりに上昇となった。

大口電力使用量は、前年同期比が 3 期連続の減少となった。前期比は 3 期ぶりに増加となった。

### 住宅投資

新設住宅着工戸数は、前年同期比が持家は 2 期ぶりに増加、貸家は 3 期連続の減少、分譲住宅は 2 期ぶりに減少となった。

全体では 3 期ぶりに増加となった。

### 公共投資

公共工事請負金額の発注主体別の前年同期比は、県は 3 期連続の増加、国は 2 期連続の増加、市町村は 6 期連続の減少となった。

全体では 2 期連続の増加となった。

### 大型小売店

大型小売店販売額（百貨店・スーパーの販売額の合計。既存店比較）は、前年同期比が 2 期連続の増加となった。衣料品は 23 期ぶりに増加、飲食料品は 2 期連続の増加となった。

### 自動車

軽自動車の新車届出台数を含み乗用車新車登録台数は、前年同期比が 2 期連続の増加となった。車種別の前年同期比は、普通車は 4 期ぶりに増加、小型車は 2 期連続の増加、軽自動車は 2 期連続の増加となった。

### 物価

仙台市消費者物価指数（平成 22 年 = 100）は、総合指数は、前年同期比が 11 期連続の低下となった。生鮮食品を除く総合指数は、前年同期比が 11 期連続の低下となった。食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は、前年同期比が 14 期連続の低下となった。

### 雇用

有効求人倍率（原指数）は、前年同期差が 6 期連続の上昇となった。新規求人倍率（原指数）は、前年同期差が 7 期連続の上昇となった。

### 企業倒産

企業倒産は、件数は前年同期比が 3 期連続の減少となった。負債総額は前年同期比が 3 期ぶりに増加となった。

# 主な指標の動き

## 1 生産

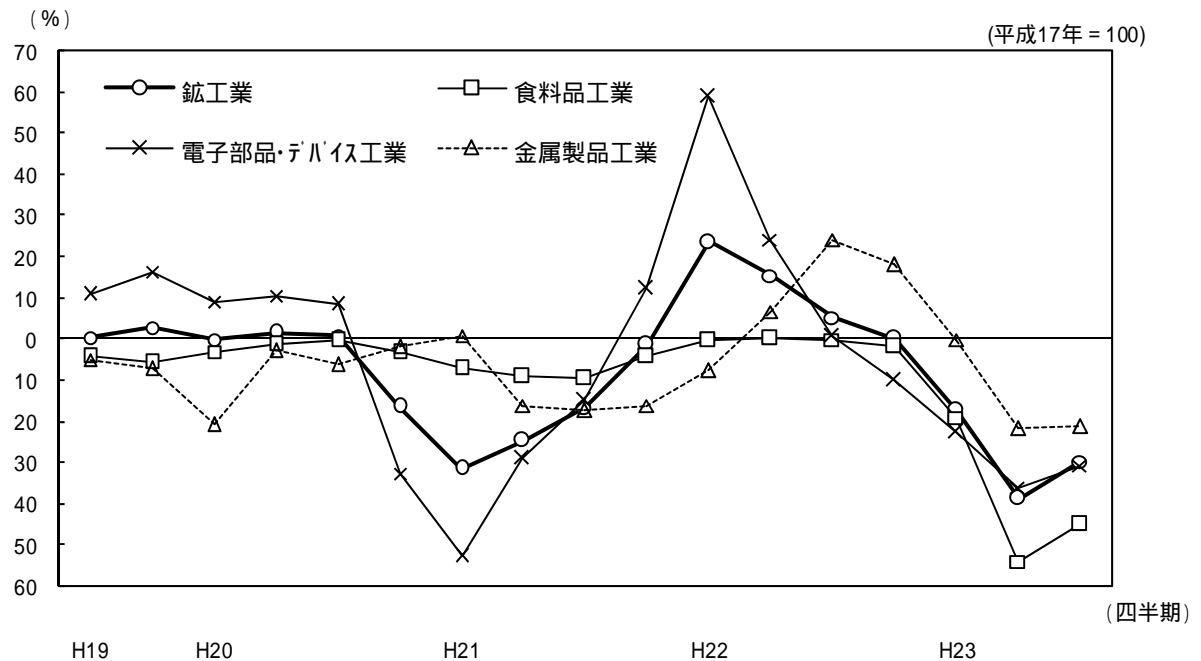
### (1) 鉱工業生産指数

平成 23 年第 3 四半期 (7 月～9 月期) の鉱工業生産指数 (季節調整済) は 62.8 (平成 17 年 = 100) で、前年同期比 (原指数での比較) が 29.8% の低下となり、3 期連続の低下となった。

ウェイトの大きい業種を中心にみると、電子部品・デバイス工業は前年同期比が 30.8% の低下となり、4 期連続の低下となった。食料品工業は前年同期比が 45.1% の低下となり、17 期連続の低下となった。金属製品工業は前年同期比が 21.2% の低下となり、3 期連続の低下となった。一般機械工業は前年同期比が 22.9% の上昇となり、5 期ぶりに上昇となった。パルプ・紙・紙加工品工業は前年同期比が 59.2% の低下となり、3 期連続の低下となった。

前期比では 10.8% の上昇となり、6 期ぶりに上昇となった。

四半期別鉱工業生産指数前年同期比の推移



(資料:宮城県統計課)

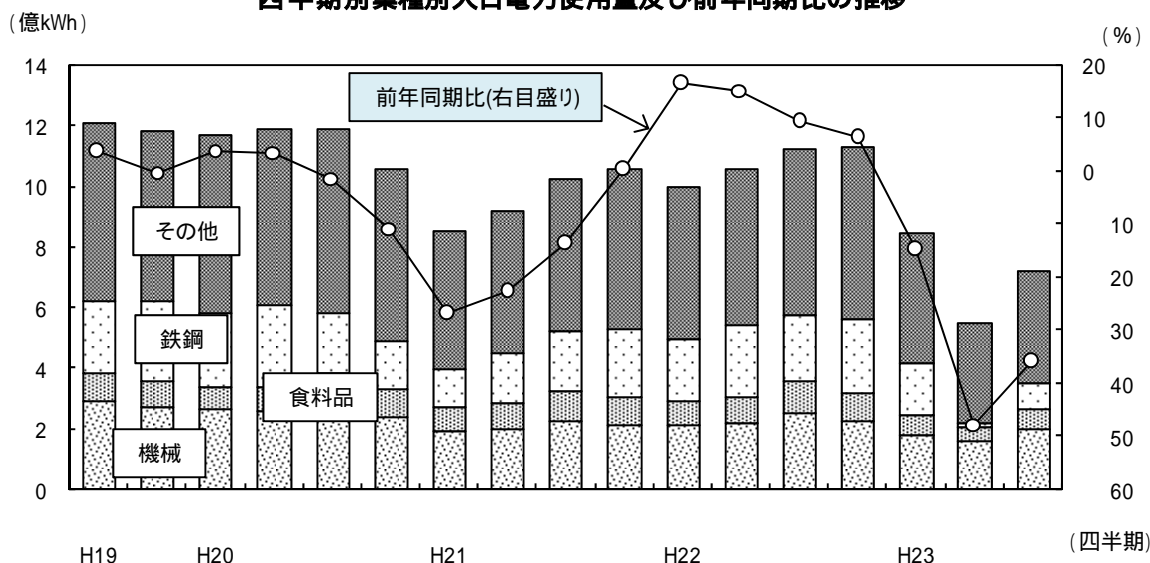
## (2) 大口電力使用量

平成 23 年第 3 四半期 (7 月～9 月期) の大口電力 (契約電力 500KW 以上) 使用量は 7 億 2,107 万 KWh で、前年同期比が 35.9% の減少となり、3 期連続の減少となった。

主要業種別に見ると、食料品分野は前年同期比が 35.1% の減少となり、3 期連続の減少となった。機械分野は前年同期比が 21.4% の減少となり、3 期連続の減少となった。鉄鋼分野は前年同期比が 62.8% の減少となり、3 期連続の減少となった。

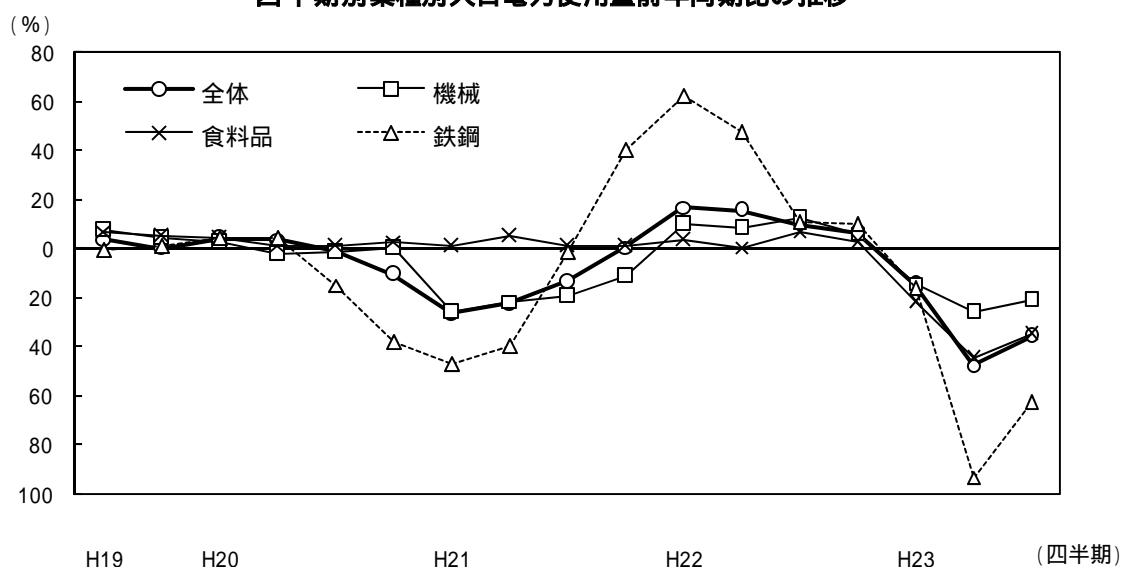
前期比では 30.3% の増加となり、3 期ぶりに増加となった。

### 四半期別業種別大口電力使用量及び前年同期比の推移



(資料:(株)東北電力宮城支店「業務資料」)

### 四半期別業種別大口電力使用量前年同期比の推移



(資料:(株)東北電力宮城支店)

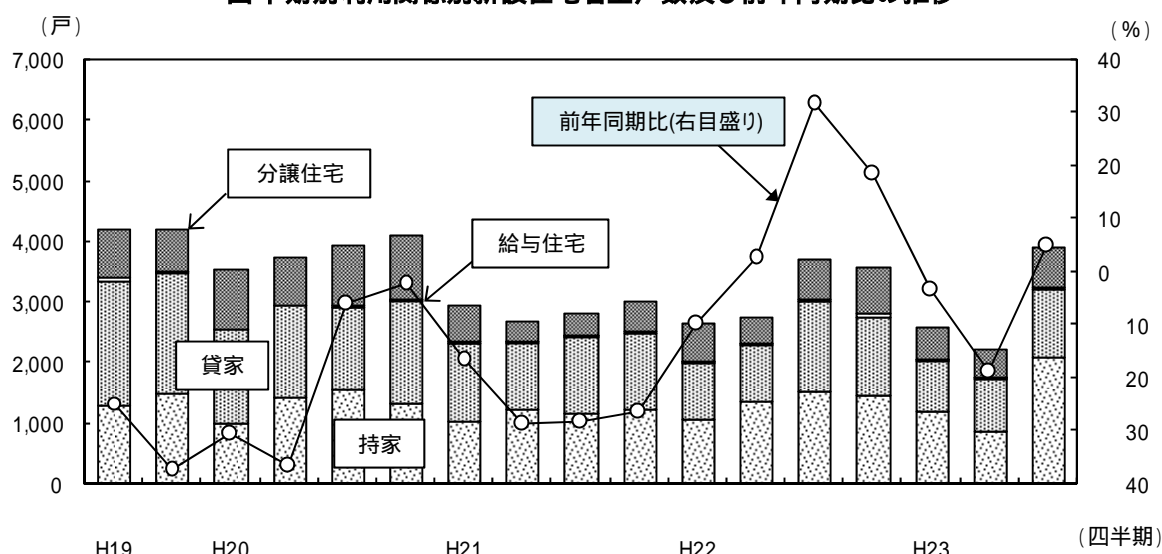
## 2 建設投資

### (1) 新設住宅着工戸数

平成23年第3四半期(7月～9月期)の新設住宅着工戸数は3,906戸で、前年同期比が4.8%の増加となり、3期ぶりに増加となった。

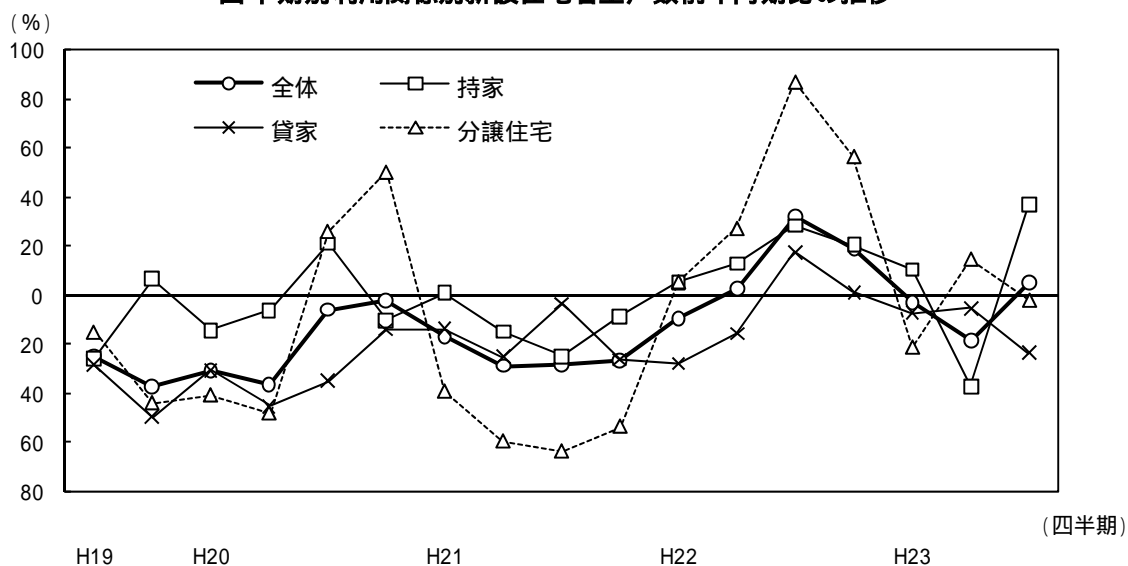
利用関係別にみると、持家(建築主が自分で居住する目的で建築するもの)は前年同期比が36.6%の増加となり、2期ぶりに増加となった。貸家(建築主が賃貸する目的で建築するもの)は前年同期比が23.9%の減少となり、3期連続の減少となった。分譲住宅(建売または分譲の目的で建築するもの)は前年同期比が2.4%の減少となり、2期ぶりに減少となった。

四半期別利用関係別新設住宅着工戸数及び前年同期比の推移



(資料:国土交通省)

四半期別利用関係別新設住宅着工戸数前年同期比の推移

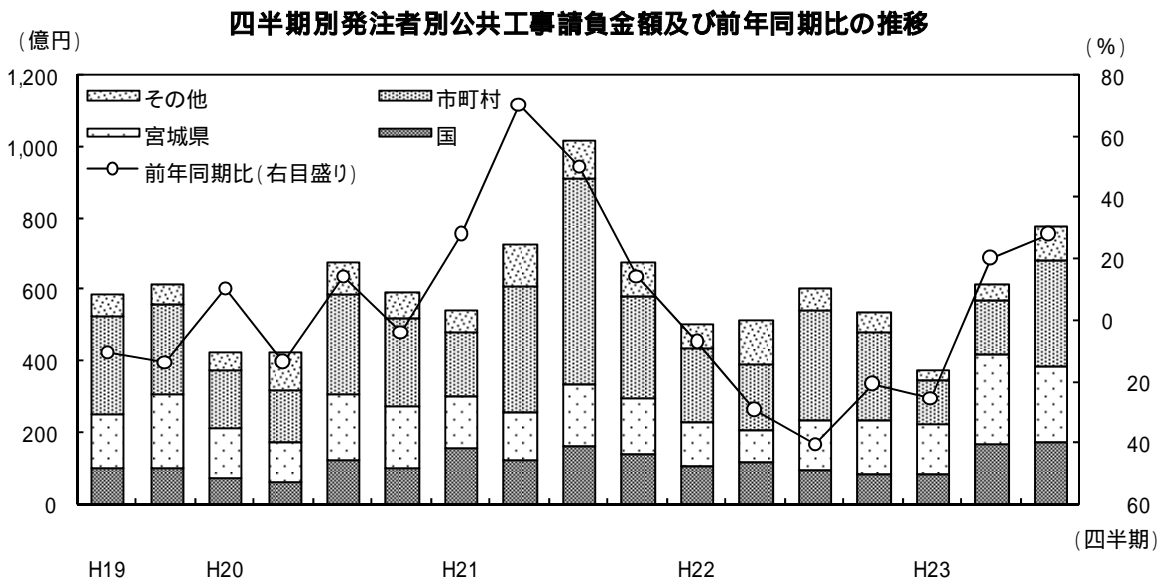


(資料:国土交通省)

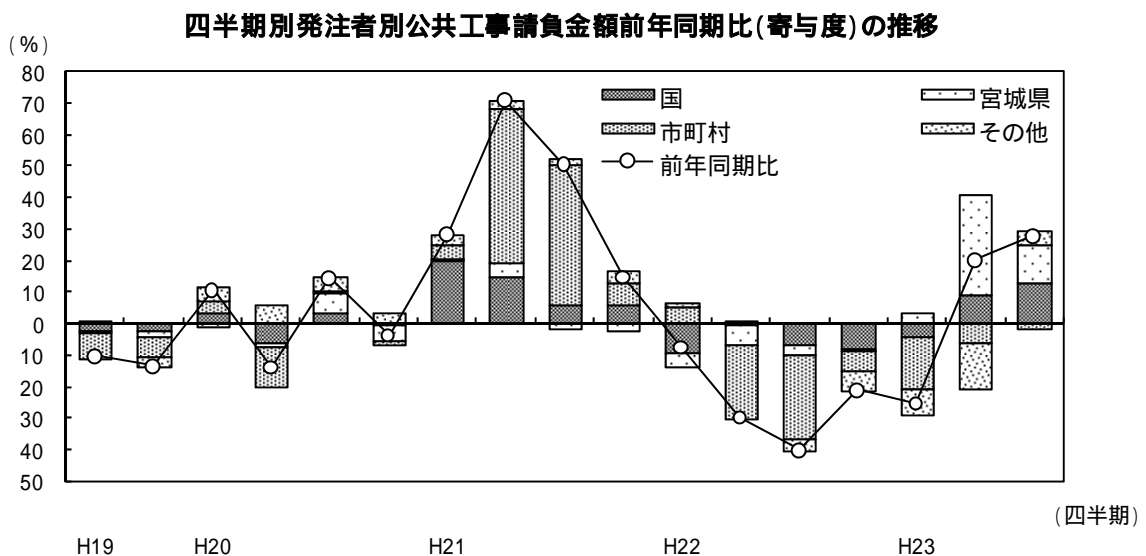
## (2) 公共工事請負金額

平成23年第3四半期(7月～9月期)の公共工事請負金額は778億3,500万円で、前年同期比が27.7%の増加となり、2期連続の増加となった。

発注者別にみると、国は前年同期比が79.8%の増加となり、2期連続の増加となった。宮城県は前年同期比が52.5%の増加となり、3期連続の増加となった。市町村は前年同期比が3.5%の減少となり、6期連続の減少となった。



(資料: 東日本建設業保証(株))



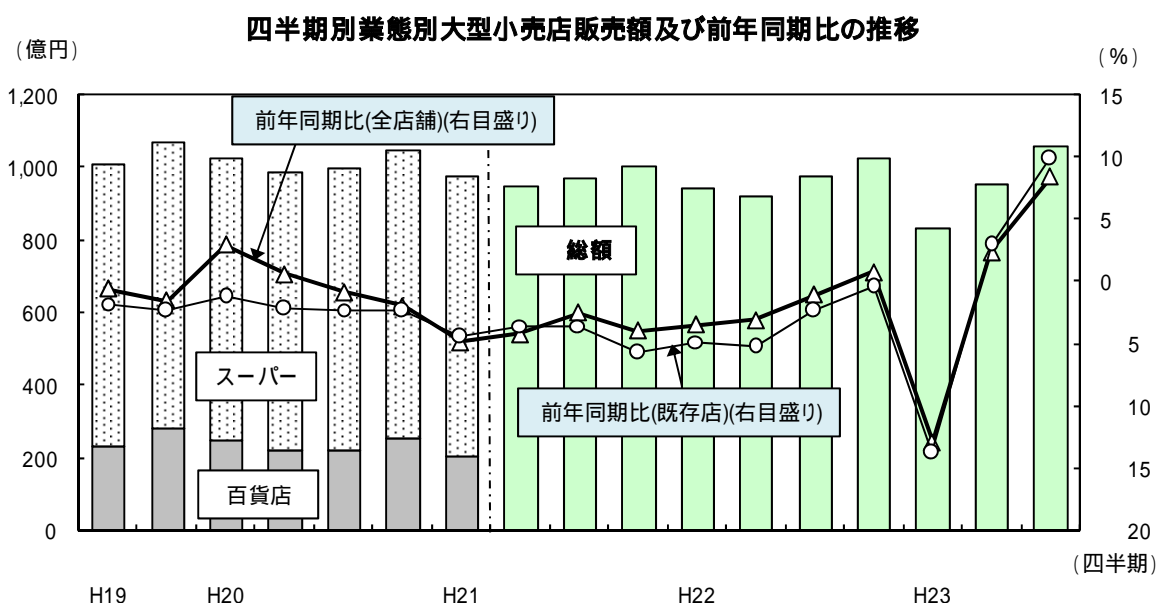
(資料: 東日本建設業保証(株))

### 3 個人消費

#### (1) 大型小売店販売額

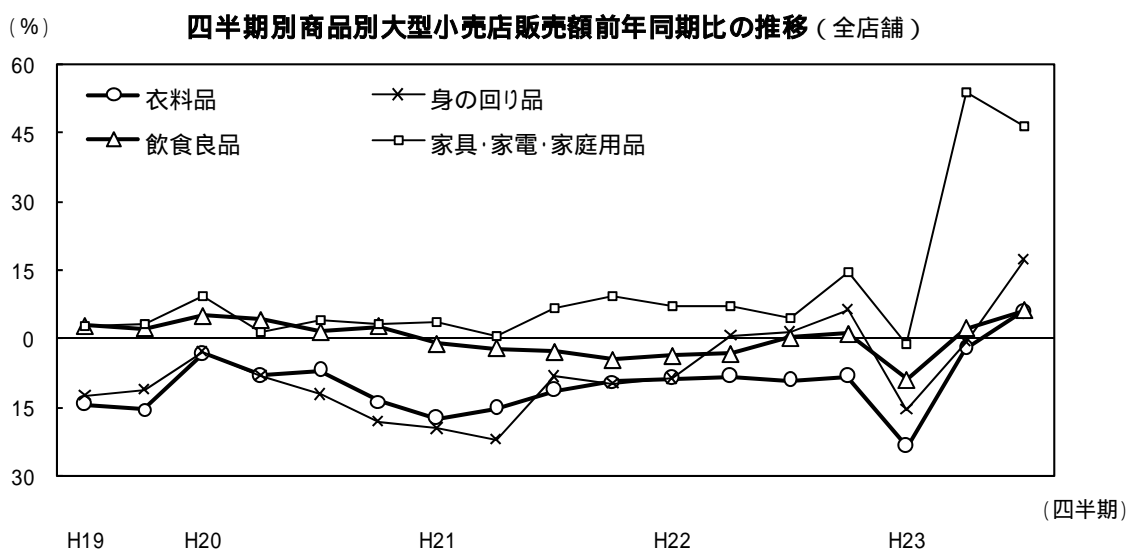
平成 23 年第 3 四半期 (7 月～9 月期) の大型小売店販売額は 1,056 億 9,100 万円で、前年同期比 (既存店比較) が 9.8% の増加となり、2 期連続の増加となった。全店舗比較の前年同期比は 8.4% の増加となった。

商品別にみると、衣料品は前年同期比が 5.8% の増加となり、平成 17 年第 4 四半期以来、23 期ぶりに増加となった。飲食料品は前年同期比が 6.0% の増加となり、2 期連続の増加となった。また、家具・家電・家庭用品は前年同期比が 46.5% の増加となり、2 期連続の増加となった。



平成 21 年 4 月から宮城县の業態別数値は秘匿となっている。

(資料: 東北経済産業局)



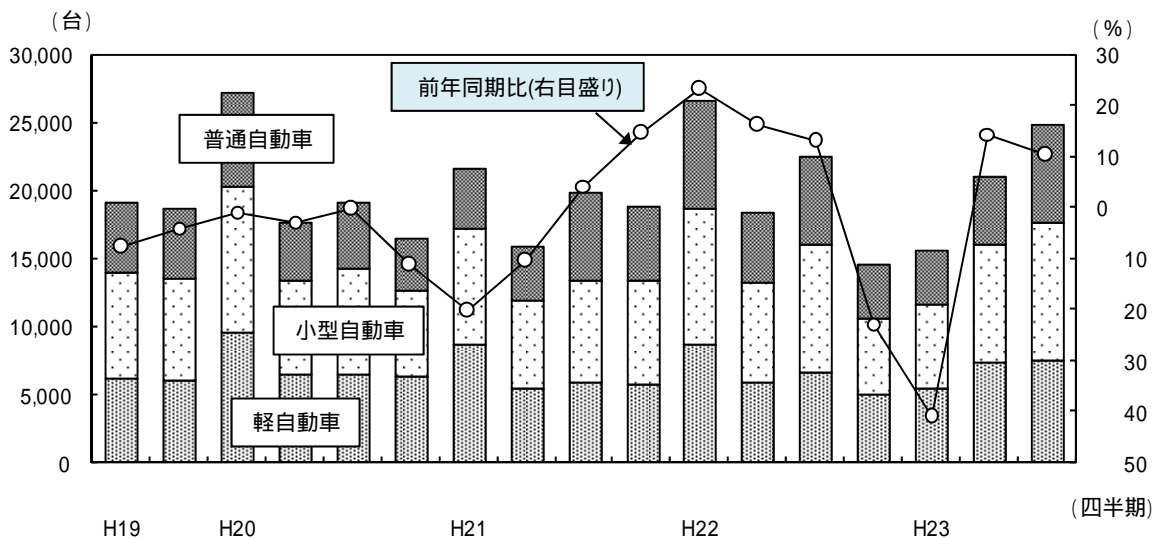
(資料: 東北経済産業局)

## (2) 乗用車新車登録台数

平成23年第3四半期(7月～9月期)の軽自動車の新車届出台数を合わせた乗用車新車登録台数は2万4,815台で、前年同期比が10.2%の増加となり、2期連続の増加となった。

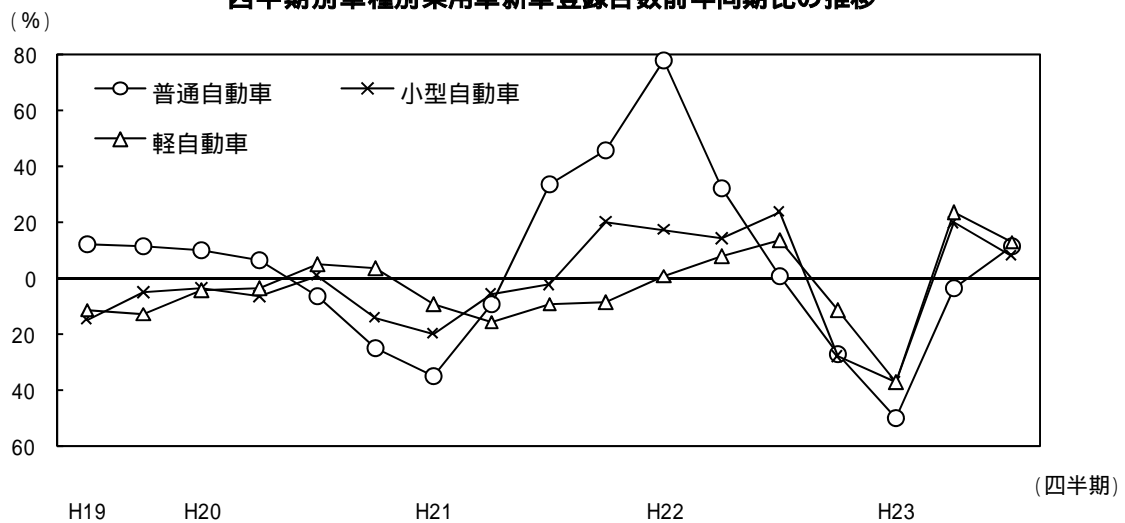
車種別にみると、普通車は前年同期比が11.0%の増加となり、4期ぶりに増加となった。小型車は前年同期比が7.6%の増加となり、2期連続の増加となった。軽自動車は前年同期比が13.0%の増加となり、2期連続の増加となった。

四半期別車種別乗用車新車登録台数及び前年同期比の推移



(資料:自動車販売協会連合会宮城県支部,全国軽自動車協会連合会)

四半期別車種別乗用車新車登録台数前年同期比の推移



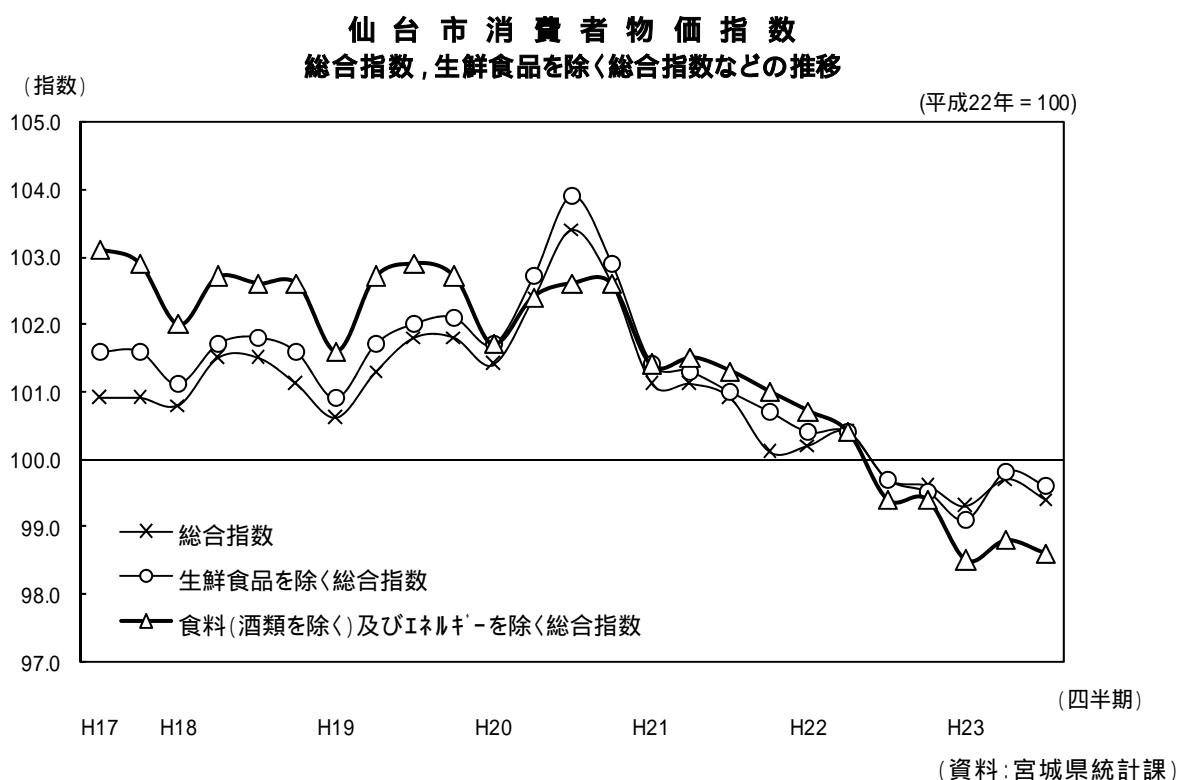
(資料:自動車販売協会連合会宮城県支部,全国軽自動車協会連合会)



## 4 物 価

### 消費者物価指数

平成 23 年第 3 四半期 (7 月 ~ 9 月期) の平均仙台市消費者物価指数 (平成 22 年 = 100) は、総合指数は 99.4 で、前年同期比が 0.3% の低下となり、11 期連続の低下となった。生鮮食品を除く総合指数は 99.6 で、前年同期比が 0.1% の低下となり、11 期連続の低下となった。食料 (酒類を除く) 及びエネルギーを除く総合指数は 98.6 で、前年同期比が 0.8% の低下となり、14 期連続の低下となった。

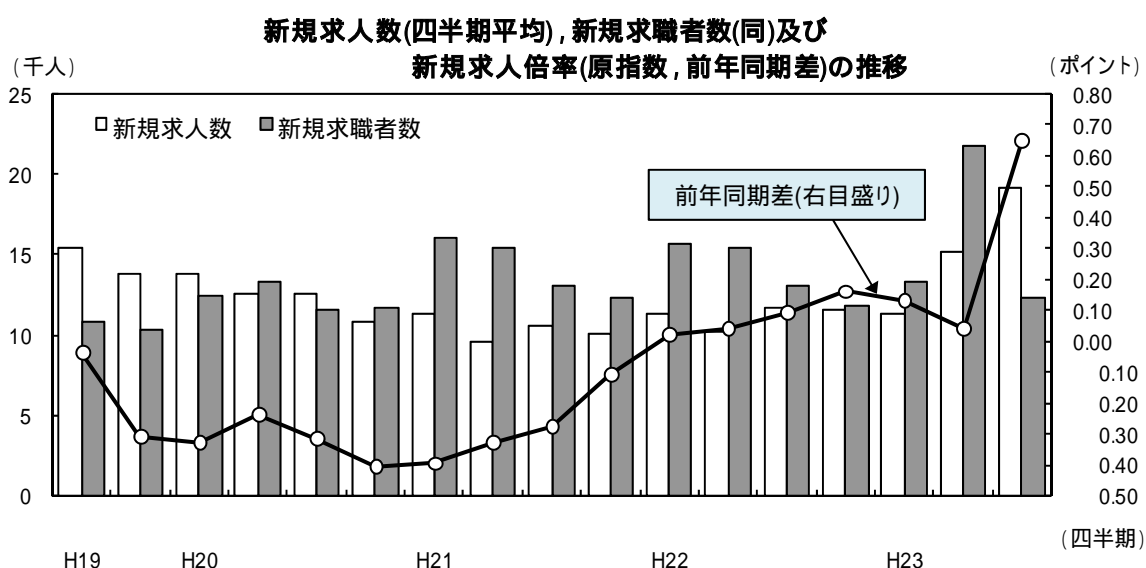
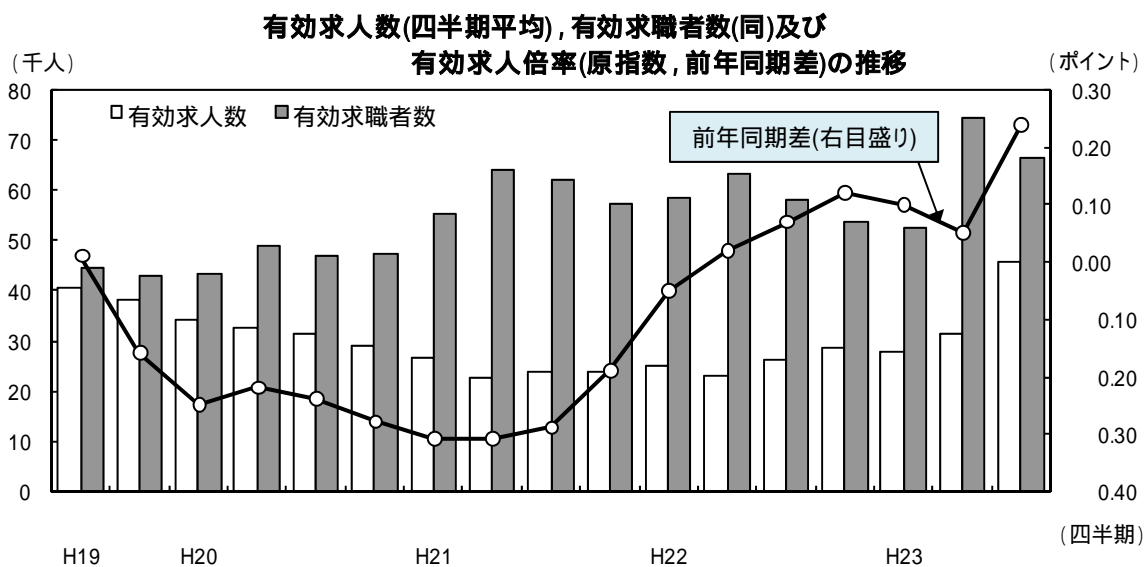


## 5 雇 用

### 有効求人倍率及び新規求人倍率

平成 23 年第 3 四半期(7 月～9 月期)の有効求人数(月平均値)は 4 万 5,585 人で、前年同期比が 72.4%の増加となった。有効求職者数(同)は 6 万 6,498 人で、前年同期比が 14.3%の増加となった。有効求人倍率(原指数)は 0.69 倍で前年同期差は、0.24 ポイント上昇し、6 期連続の上昇となった。

新規求人数(月平均値)は 1 万 9,114 人で、前年同期比が 62.7%の増加となった。新規求職申込件数(同)は 1 万 2,331 件で、前年同期比が 5.4%の減少となった。新規求人倍率(原指数)は 1.55 倍で前年同期差は、0.65 ポイント上昇し、7 期連続の上昇となった。



## 6 倒産

### 企業倒産

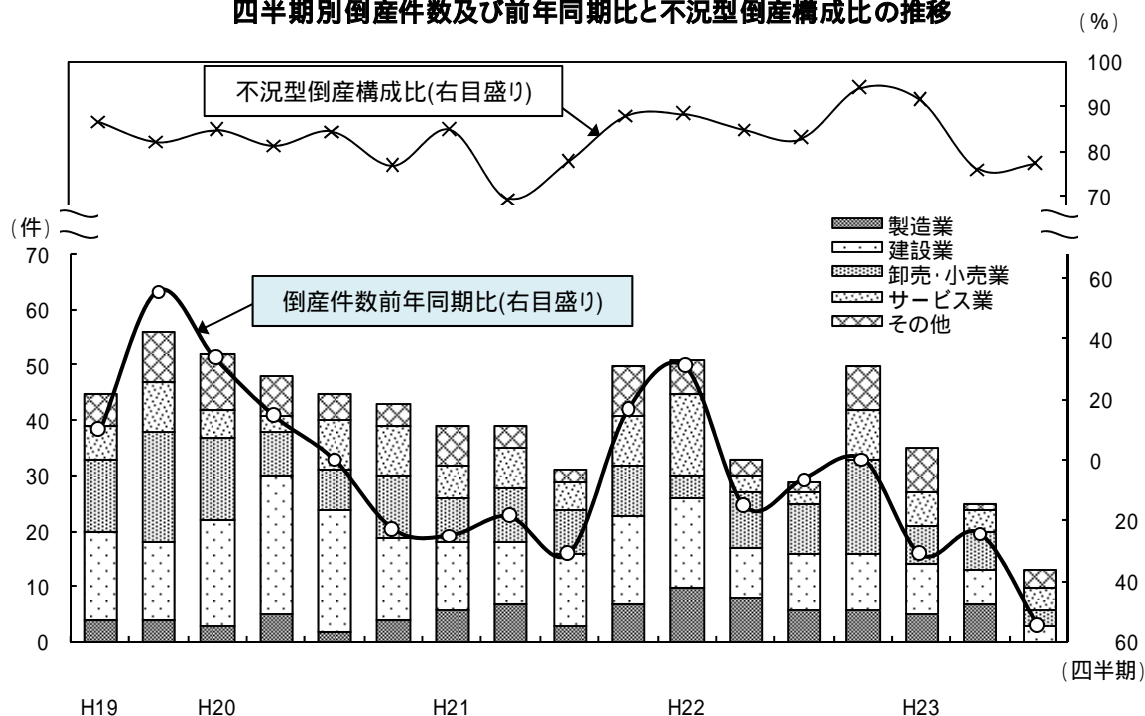
平成23年第3四半期(7月～9月期)の宮城県内の企業倒産(負債総額1千万以上)の件数は13件で、前年同期比が55.2%の減少となり、3期連続の減少となった。

負債総額は283億9,800万円で、前年同期比が113.4%の増加となり、3期ぶりに増加となった。

これらのうちの不況型倒産(販売不振, 売掛金回収困難, 赤字累積)の件数は10件で、3期連続の減少となった。件数の構成比は76.9%で、前年同期より5.9ポイント低下となった。

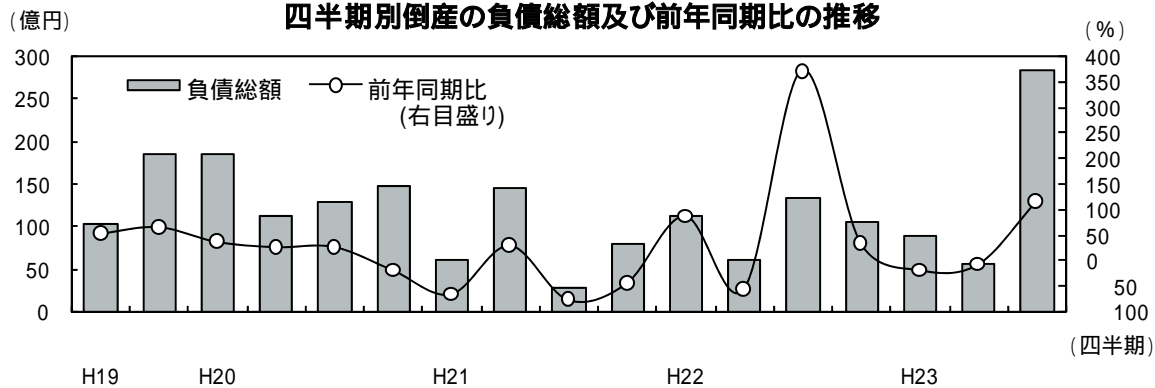
大型倒産(負債総額10億円以上)は2件発生し、前年同期より1件増加した。負債総額は269億1,800万円であった。

四半期別倒産件数及び前年同期比と不況型倒産構成比の推移



(資料:(株)東京商工リサーチ)

四半期別倒産の負債総額及び前年同期比の推移



(資料:(株)東京商工リサーチ)

